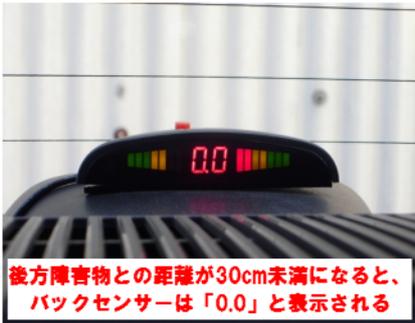


業 種	タクシー
取組分野	教育・訓練
テ ー マ	後退事故削減への取組（バックセンサーの特性を理解させる教育）
取組の狙い	バックセンサーを導入したものの、当初は事故が削減しなかったことを踏まえ、社員が理解できていない点を検証した上で、バックセンサーの特性について理解を促す教育を実施することにより、後退事故の削減を図る。
具体的内容	<p>株式会社国際興業大阪は、平成21年度における後退事故が加害事故全体の39%と把握したため、平成22年度から経営トップ主導の下で以下の取組を行っている。</p> <p>【平成22年度の取組】</p> <p>後退事故を減少させるため、全車にバックセンサーを導入したが、事故が減少しなかったことから、営業社員のバックセンサーに対する理解度を検証したところ、下記2点について理解が不足していることを確認した。</p> <p>① バックセンサーが「0.0」と表示された場合、後方障害物との距離は、30cm未満であること</p> <p>② 30cmとは、アクセルを踏まなくても、1秒後には後方障害物に接触してしまうこと</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>後方障害物との距離が30cm未満になると、バックセンサーは「0.0」と表示される</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>バックセンサーが「0.0」と表示された時の距離は30cm未満</p> </div> </div> <p>そこで、全営業社員向けに安全運転勉強会を開催し、発砲スチロール製ブロックを壁に見立て、実車を用いてバックセンサーの反応を経験させる模擬体験を行うとともに、バックをする際は、アクセルではなくブレーキに足を乗せるように具体的な指導を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

	<p>【平成23年度の取組】 安全運転勉強会の対象者を事故惹起者のみにしたところ、再び後退事故が増加したため、安全運転勉強会を全営業社員に改めた。 さらに、毎朝の点呼において、全員で「<u>後退時はアクセル踏まずにバックする</u>」と唱和することにより、認識を新たにしている。</p>								
取組の効果	<p>【定量的な効果】 <u>平成22年度の後退事故件数は、平成21年度比の50%減</u></p> <table border="1" data-bbox="363 629 933 808"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>後退事故件数(指数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成21年度</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>56</td> </tr> </tbody> </table> <p>【定性的な効果】 バックセンサーを導入しても事故が減少しなかった原因を突き詰めた上で、下記取組を行ったことにより、後退事故が削減したと考えている。</p> <p>① 「発砲スチロール製ブロックを壁に見立てる」、「実車を用いる」といった模擬訓練を行ったことにより、実車指導を受けた者だけでなく、参加者全員がバックセンサーの特性を体感できたこと</p> <p>② バックをする際は、アクセルではなくブレーキに足を乗せるように具体的な指導を行い、さらに、平成23年度からは、毎朝の点呼において、全員で唱和していること</p>	年度	後退事故件数(指数)	平成21年度	100	平成22年度	50	平成23年度	56
年度	後退事故件数(指数)								
平成21年度	100								
平成22年度	50								
平成23年度	56								
事業者名	株式会社国際興業大阪 総務部 (連絡先 06-6322-5101)								